

令和6年度 事業報告・収支決算書

一般財団法人 大阪ボーイスカウト振興協会

大阪市天王寺区大道5丁目4番6号

令和6年度 事業報告書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

例年の活動である指導者資質向上のための研修として大阪連盟が開設した指導者講習会14回、ウッドバッジ研修所スカウトコース2コースに対する支援が行われた他、昨年度に富士章に進級したスカウト14人に記念品を贈呈し激励した。

大阪連盟との共催で毎年実施する『わくわくアウトドア』並びに、タイアップして行う全国展開の日本連盟『防災キャラバン』は府内6か所で開催され好評を博した。

大阪連盟や府内の青少年団体とともに実行委員会を構成し、一般の少年少女にアウトドアプログラムを提供する『アウトドアチャレンジ事業』は、TV大阪主催『OUTDOOR FES』会場で「チャレンジ広場」としての出展は、2日目が雨天となり人出が少なくなったものの、各団体と力を合わせた活動を展開し好評を得た。

本年度の「団活性化・スカウト加入促進事業」は、2個団に計505,500円を助成した。

福島県で開催された第13回日本アグーナリーには、スカウト18人・指導者21人計39人が大阪連盟から参加し、全国・海外1,000人の参加者とともに活動し、当財団もこれを支援した。

大阪スカウト会館を活用した事業は、大阪連盟への事務所の無償提供と、大阪府日本中国友好協会への事務所提供を行い、ボーイスカウトをはじめ地域・他団体・行政への会議室提供を行った。

大阪連盟への支援活動である、大阪連盟の野営場「キャンプおおさか」整備活動の支援は、キャンプおおさか管理センター・大阪連盟野営場整備チームの各副主任・副チーフとして丸谷常務理事が任にあたり、キャンプ場整備の短中長期の整備計画企画に参画し、また資機材整備への支援を行った。

この野営場整備は、『スカウトキャンプの完全実施が可能な理想のキャンプ場整備』『自然と人間の共生を目指す森林整備』『野営場の活動を通じて青年を育てる』をコンセプトとして長期にわたって行われている。

また、青年スカウト育成のため当財団が中心となって立ち上げ支援し本年2年目となる「ウッドクラフトキャンプ」は、34人のローバースカウトが参加し好評のうちに成果を上げた。

円安をはじめ日本経済の停滞する中で、維持会員の皆様や各企業の変わらぬ温かいご支援によって法人活動が続けられたことは感謝に堪えないことである。

令和6年度において行った事業と、ボーイスカウト大阪連盟に対する主な助成は以下の通りである。

I. 事業の概要

1. ボーイスカウト運動普及奨励のための事業助成

1-1. 「ボーイスカウト展」及び「一日体験入隊」の開催助成

2. ボーイスカウト指導者養成のための事業助成

2-1. 4月～3月 ボーイスカウト講習会14回を府内全域にて開催助成

2-2. 指導者研修所開設助成

A スカウトコース 2コース 履修者 51人

日 程	回 期	修了者数	開 設 場 所
4月27日～30日	大 阪 第 1 8 期	26人	キ ャ ン プ お お さ か
10月11日～14日	大 阪 第 1 9 期	25人	キ ャ ン プ お お さ か

B 課程別研修 4コース

6月16日 — ビーバー課程 修了者10人

6月23日 — ボーイ課程 修了者19人

11月10日 — カブ課程 修了者18人

11月17日 — ベンチャー課程 修了者9人

C 団委員研修所 大阪第8期 修了者16人(大阪市立信太山青少年野外活動センター)

3. 広報・啓発事業

3-1. 「1万人のPR大作戦」協賛

期 間 令和3年度から5か年間、令和3年10月1日開始。

内 容 大阪連盟スカウトはシールを使い、成人関係者（指導者・保護者・青年スカウト）はエコバックを使用してボーイスカウト活動をPRする。

3-2. 府内の子どもたちへの青少年活動・野外体験のための事業

事 業 名 「わくわくアウトドア」

主 催 日本ボーイスカウト大阪連盟と当財団共催

後 援 大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、堺市、堺市教育委員会

協 力 大阪市消防局、江崎グリコ(株)

開 催 日 令和6年9月8日(日)・9月16日(月・祝)・10月5日(土)・10月6日(日)・
11月2日(土)・令和7年2月19日(水)～22日(土)

実施場所 大阪府内6か所

内 容 小学校低学年の一般の子どもたちを対象として、災害発生時に役に立つ技能を体験するプログラムをボーイスカウト大阪連盟と共催して実施。

広報活動 リーフレットを作成し、各団等の地域で配布。
 提 供 大阪府・市から災害用備蓄水の提供を受け参加者に試食配布。
 江崎グリコ(株)の災害備蓄用ビスコの提供を受け、参加賞として配布。

開催場所と参加者

開催日	会 場	担当地区	防災キャラバン連携	来場者数
9月8日(日)	イオンモール茨木店	みしま	◎	450
9月16日(月・祝)	イオンモール大日店	きたおおさか	◎	500
10月5日(土)	服部緑地公園	ほくせつ		350
10月6日(日)	イオンモール鶴見緑地店	なみはや	◎	480
11月2日(土)	イオンモール藤井寺店	かわち		380
2月19日(水)～22日(土)	アリオ八尾店	かわち	◎	650
参加者合計				2,810

3-3. アウトドアチャレンジ事業『チャレンジ広場』

府内の10の青少年団体とともに実行委員会を構成し、一般の少年少女向けのアウトドアプログラムを提供した。

開 催 日 令和7年3月1日(土)・2日(日)

実施場所 万博記念公園(テレビ大阪主催「アウトドアフェス」会場内)

参加人員 395人

実行委員会構成(11団体)

日本ボーイスカウト大阪連盟・(一財)大阪ボーイスカウト振興協会・大阪キャンプ協会
 ・(一社)ガールスカウト大阪府連盟・(公財)大阪YMCA・(公財)大阪YWCA・NPO法人ナック・(一財)大阪府青少年活動財団・(一財)大阪市青少年活動協会・大阪府こども会育成連合会・大阪市子ども会育成連合協議会

4、大阪スカウト会館事業

1) ボーイスカウトへの事務所供与

1階にボーイスカウト大阪連盟事務局を設置・供与

2) 公益団体への事務所供与

大阪府日本中国友好協会への貸与 2階部分102㎡

3) 会議室の供与

会議室利用実績 4月～9月

利 用 区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小 計
ボーイスカウト関係	回 数	19	19	26	21	10	14	109
	人 数	200	177	279	282	82	170	1,190
他 団 体・地 域	回 数	4	7	5	4	3	7	30
	人 数	84	116	84	58	45	169	556
合 計	回 数	23	26	31	25	13	21	139
	人 数	284	293	363	340	127	339	1,746

時間区分の利用実績

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小 計
午 前	1	2	5	4	1	2	15
午 後	7	8	10	10	4	9	48
夜 間	15	16	19	12	9	12	83
合 計	23	26	34	26	14	23	146

会議室利用実績 10月～3月・総計

利 用 区 分		10月	11月	12月	1月	2月	3月	小 計	総 計	前年実績
ボーイスカウト関係	回 数	21	22	17	24	25	30	139	248	257
	人 数	225	287	193	241	310	358	1,614	2,804	2,724
他 団 体・地 域	回 数	5	5	4	3	4	6	27	57	63
	人 数	89	163	52	41	84	117	546	1,102	1,050
合 計	回 数	26	27	21	27	29	36	166	305	320
	人 数	314	450	245	282	394	475	2,160	3,906	3,774

時間区分の利用実績

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小 計	総 計	前年実績
午 前	4	6	1	2	4	6	23	38	26
午 後	6	10	5	6	9	14	50	98	123
夜 間	21	16	17	20	20	19	113	196	200
合 計	31	32	23	28	33	39	186	332	349

5. ボーイスカウトの奉仕活動、野営・行事の助成

5-1. 環境保全、奉仕活動

事業名	「スカウトの日」
日時	令和6年9月16日(月・祝)
場所	大阪府内
内容	全国のボーイスカウトが行う「スカウトの日」活動を大阪府内の各団が、地域の環境保全活動や奉仕活動を一斉に行った。

5-2. 第13回日本アグーナリー参加への支援

期間	令和6年8月8日(金)～8月12日(日)
会場	福島県 国立磐梯青少年交流の家
参加者	全国・外国から約1,000人 内大阪からの参加者 スカウト18人、指導者21人、合計39人

6. 「団活性化・スカウト加入促進事業助成金制度」

「団活性化・スカウト加入促進事業助成金事業」は、昨年度にその募集と審査が行われ、申請者全員に総額505,500円を助成した。

これに呼応して大阪連盟では、この助成団を支援・指導し見守ることによって団や組織の再生を図った。

また、令和7年度の募集と審査が行われ、助成先が内定された。

6月4日	令和7年度助成金募集開始
10月20日	応募〆切。応募団体1件(日本ボーイスカウト大阪連盟)
10月24日	審査委員会による審査
11月1日	第3回理事会で令和7年度申請団体の内定承認(1件)

※初年度からの助成状況は、16頁に掲載。

7. 優秀スカウトの表彰

6月2日	対象スカウト14人(大阪連盟総会会場)
------	---------------------

8. 広報活動

マルチメディアチーム・SWOの運営とホームページ運営

9. 青少年健全育成活動に対する助成

大阪ユースホステル協会に対し助成

10. ボーイスカウト需品のあっせん

11. ボーイスカウト大阪連盟事務所・会議室の提供・維持に関する助成

12. 大阪スカウト会館整備

- ・エアコン室外機 1 台の修理

13. ボーイスカウト大阪連盟の訓練・プログラム施設に関する便宜供与

「キャンプおおさか（枚方市穂谷）」の整備

- ・大阪連盟「キャンプおおさか管理センター」「大阪連盟野営場整備チーム」活動への支援
- ・サイトの整備と植樹
- ・短・長期の整備計画の策定

14. 財源の確保

財源確保の重要課題である維持員拡大は、会長を先頭として幹事社と関係役員のご支援を得ながらの取り組みを展開した。（特別維持員 2 社を獲得）

Ⅱ．処務の概要

１．役員等に関する事項

１－１．

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

役 名	氏 名	現 職	就任 年 月 日	備 考
会 長	江 崎 勝 久	江崎グリコ株式会社 代表取締役会長	H26. 4. 1	
常務理事	丸 谷 登	マルヤ電気株式会社 副会長	H26. 4. 1	
〃	樽 谷 進	弁護士 樽谷法律事務所 所長	R 5. 3. 17	
理 事	大 坪 文 雄	パナソニックホールディングス株式会社 特別顧問	H26. 4. 1	
〃	林 直 久	大阪ガス株式会社 執行役員 秘書部長	R 6. 4. 1	
〃	南 匡 晴	ダイキン工業株式会社 役員待遇 秘書室長	H26. 4. 1	
〃	山 本 卓 彦	サントリーホールディングス株式会社 大阪秘書室 秘書役	H26. 4. 1	
〃	枝 村 浩 平	因幡電機産業株式会社 特別顧問	H30. 6. 21	
〃	寺 井 種 治	大阪天満宮 宮司	R 1. 6. 5	
〃	瀬 濤 康 匡	大都産業株式会社 代表取締役会長	H26. 4. 1	
〃	前 田 栄 子	日本ボーイスカウト大阪連盟 理事長	R 4. 6. 23	
〃	木 瀬 浩 平	元 讀賣テレビ放送株式会社 常務取締役	R 5. 11. 10	
監 事	耕 泰 一 郎	税理士 耕会計事務所 所長	H26. 4. 1	
〃	塚 本 一 男	株式会社フェアロザムンデ 代表取締役	R 5. 3. 17	
評 議 員	福 浦 義 隆	関西電力株式会社 総務担当部長	R 7. 3. 14	
〃	小 原 一 泰	阪急電鉄株式会社 総務部長	H29. 6. 14	
〃	辰 野 勇	株式会社モンベル 代表取締役会長	H26. 4. 1	
〃	斉 藤 誠	パナソニックホールディングス株式会社 C S R ・ 企業市民活動担当室 企業市民活動企画課 主幹	R 4. 3. 1	
〃	佐 古 員 規	一般財団法人大阪府こども会育成連合会 理事長	H30. 6. 21	
〃	岸 野 博 行	公益財団法人大阪ユースホステル協会 専務理事	R 7. 3. 14	
〃	松 村 祥	一般社団法人ガールスカウト大阪府連盟 連盟長	R 4. 6. 23	
〃	小 川 健一郎	公益財団法人大阪YMCA 代表理事	H30. 6. 21	
〃	中 野 泰 孝	一般財団法人大阪府青少年活動財団 代表理事 専務理事	R 2. 3. 26	
〃	中 山 羊 奈	公益財団法人大阪YWCA 常務理事	H26. 4. 1	
〃	三 保 洋 士	一般財団法人大阪市青少年活動協会 専務理事	H26. 4. 1	
〃	膳 師 功	日本ボーイスカウト大阪連盟 参与	H26. 4. 1	
〃	横 山 稔	日本ボーイスカウト大阪連盟 参与	R 2. 6. 18	
〃	山 原 誠	日本ボーイスカウト大阪連盟 事務局長	R 2. 6. 18	
〃	西 田 俊 幸	日本ボーイスカウト大阪連盟 コミッショナー	R 4. 6. 23	
〃	菅 沼 宏 之	日本ボーイスカウト大阪連盟 事務局長	R 6. 6. 12	

2. 維持員に関する事項

ー令和7年3月31日現在（順不同 敬称略）ー

2-1. 特別維持員（120口 6,000,000円）

大阪ガス株式会社	株式会社カネカ	関西電力株式会社
近鉄グループホールディングス株式会社	サントリーホールディングス株式会社	株式会社三菱UFJ銀行
積水化学工業株式会社	ダイキン工業株式会社	阪急電鉄株式会社
パナソニックホールディングス株式会社	江崎グリコ株式会社	ロート製薬株式会社
株式会社日本創造教育研究所	アート引越センター株式会社	阪神電気鉄道株式会社
南海電気鉄道株式会社	レンゴー株式会社	大和ハウス工業株式会社
株式会社竹中工務店	西日本旅客鉄道株式会社	因幡電機産業株式会社
株式会社新田市工務店	石切 劔 箭 神 社	日本文教出版株式会社
ミズノ株式会社	大光電機株式会社	日本電機産業株式会社
東洋技研株式会社	大日本除虫菊株式会社	株式会社日本スペリア社
協和化工株式会社	神保電器株式会社	株式会社因幡電機製作所
ジェフコム株式会社	富士電線工業株式会社	日本セロンパック株式会社
篠原電機株式会社	TOPPAN株式会社	株式会社電通
株式会社三井住友銀行	野村證券株式会社	大日本印刷株式会社
株式会社毎日放送テレビ	朝日放送テレビ株式会社	株式会社TBSテレビ
株式会社銭高組	株式会社サクラクレパス	テレビ大阪株式会社
株式会社きんでん	株式会社大広	三井住友信託銀行株式会社
真宗大谷派 難波別院	大和証券株式会社	丸石製薬株式会社
稲畑産業株式会社	大同生命保険会社	株式会社タブチ
味覚糖株式会社	有限会社芝浦照明	有限会社リサイクルネット
大阪スカウトクラブ	株式会社きわきん	樽谷法律事務所
瀬 濤 康 匡	福 田 雅 之	丸 谷 登
瀬 山 哲 隆	安川隊長を囲む会	

以上68人

2－2．賛助維持員（160口 1,600,000円）

（一般の部）

大阪放送株式会社	渡 辺 洋 一	武 田 太 郎
渡 辺 孟	豊 沢 明	高 田 武 男
膳 師 功	黒 田 一 男	前 田 栄 子
菅 沼 宏 之	植 村 美代子	則 次 亮 介
森 田 次 郎	みしま地区団委員長会	谷 口 修
横 山 稔	吉 岡 至 浩	加 藤 治 樹
萩 原 了 二	大 井 康 寛	貝 出 有三郎
高 岡 功	西 谷 正 一	神 田 年 明
丸 山 雄 章	吹田市スカウト後援会	株式会社リバフオール
大 枝 正 人	福 室 忠 正	橋 本 貴美子
木 瀬 浩 平	山 口 茂	中 井 健
パレ・フタバ株式会社	田 中 稔	竹 中 祥 介
宮 本 修	村 木 順 子	河 電 産 業 (株)
谷 田 吉 弘	村 田 紘 一	川 上 秀 次
久 徳 一 志	市 口 明 彦	塩 山 文 夫
片 山 和 俊	城 島 末 明	梅 澤 次 男
石 原 有紀子	伊 東 徹 二	小 川 時 弘
山 地 正 展	春 田 誠 市	染 川 直 人
西 田 俊 幸	赤 塚 勝 巳	磯 林 征 一
川 瀬 政 美	衛 藤 祐一郎	赤 塚 広 之
榎 本 壮 一	田 代 直 哉	久保田 太 郎
井 上 清 文	上 野 精 順	長谷川 明
吉 岡 正 晴	高 木 研 二	谷 岡 博
宮 崎 修	富 田 光 一	横 山 正 義
山 原 誠	橋 本 章 彦	神 保 清 一
三 木 靖 一	谷 口 尚 司	福 本 途 一
四 宮 政 利	宮 本 智 喜	大 段 健 司
三 宅 一 克	吉 田 昌 功	谷 勝 弘
石 橋 善 晴	木 谷 真一郎	山 本 哲
加 藤 晋 吾	川 口 明 宏	沖 山 雅 己

大 塚 正 和
奥 井 憲 長
守 口 隆 雄
小 西 善 貞
佐 野 敏 行
トムさんのアトリエ
山 本 高 久
籃 谷 智 代
山 路 正 子
秋 場 美恵子
岩 田 幸 一
池 田 悦 子
マルヤ電気株式会社
株式会社トーハク
陽光工業株式会社
うまいもんや酒まる寺田町店 木下泰輔
株式会社浪花組
光昭株式会社

神 武 磐 彦
荒 木 健 一
鈴 木 利 明
地 道 裕 彦
井 口 雅 公
杉 山 重 美
加 納 力
前 川 浩 三
河 盛 猛 夫
井 上 菊 信
小 林 正 佳
今 田 忠 行
株式会社I F A住宅設計室
瓜生製作所株式会社
三宝建設株式会社
株式会社辻本建設
新 井 和 人
西 埜 伊 宣

高 見 篤志郎
笠 松 養 三
間 下 正 司
高 橋 定 廣
渡 邊 陽 子
徳 永 康 雄
原 口 清 美
佐 藤 茂 弘
竹 本 欣 司
植 野 裕 二
松 下 修 造
三福電設株式会社
株式会社イワタ・スリッター
共栄電業株式会社
耕 泰 一 郎
株式会社楠工務店
入 江 義 雄
原 田 勝 次

以上144人

(団の部)

島 本 第 1 団
東大阪第5団育成会

島本第1団育成会

東大阪第5団

以上4人

2－3．通常維持員（469口 938,000円）

（一般の部）

川 内 平	前 川 良 三	広 瀬 俊 一
岡 部 薫	島 村 俊 行	伊 藤 裕 康
奥 田 常 夫	山 崎 憲	浅 田 佳代子
伊賀井 弘 之	笠 井 健 司	奥 田 勝 久
増 田 英 行	山 原 誠	萩 原 健 司
稲 森 磨 子	竹 村 光 司	直 木 和 郎
加 藤 宗 男	安心院 国 雄	安心院 幸 子
堀 内 信 哉	南坊城 充 興	東 平 任 司
築 山 啓 子	木 原 富美子	勝 部 哲
野 村 輝 男	本 田 良 三	岡 師 恵 子
竹 中 明 子	瀬 尾 数 高	溝 端 治
藤 井 敏 男	喜 多 収	

以上35人

(団の部)

豊能第2団	箕面第1団	箕面第2団育成会
箕面第6団	箕面第7団	池田第1団
池田第5団	池田第6団	池田第7団
豊中第1団	豊中第2団	豊中第3団育成会
豊中第4団	豊中第5団	豊中第6団育成会
豊中カトリックスカウト育成会	豊中第14団育成会	豊中第15団
豊中第17団	豊中第18団	豊中第20団
豊中第21団	豊中第22団	豊中第28団
高槻第1団	高槻第4団	高槻第5団
高槻第6団育成会	高槻第7団	茨木第1団
茨木第2団	茨木第3団	茨木第6団
茨木第9団育成会	摂津第1団	摂津第3団
吹田第4団	吹田第6団	吹田第9団
吹田第15団	吹田第17団	吹田第19団
吹田第23団	大阪第72団	大阪第79団
大阪第138団	大阪第9団	大阪第21団
大阪第56団	大阪第94団	大阪第46団
大阪第107団	大阪第163団	大阪第68団
大阪第47団	大阪第18団	大阪第70団
大阪第98団	大阪第65団	大阪第131団
大阪第142団和光寺スカウト育成会	大阪第2団	大阪第126団
大阪第71団	大阪第85団	大阪第122団
大阪第11団	大阪第27団	大阪第164団
枚方第2団	枚方第3団	枚方第5団
枚方第8団	枚方第9団	枚方第15団
枚方第18団	交野第3団	大東第2団
寝屋川第1団	寝屋川第7団	守口第1団
守口第2団	四條畷第1団	門真第1団
大阪第53団	大阪第80団	大阪第87団
大阪第63団	大阪第119団	大阪第120団
大阪第166団	大阪第74団	大阪第123団

大阪第81団
大阪第44団
八尾第1団
東大阪第1団
東大阪第5団
東大阪第9団
富田林第2団
羽曳野第1団
堺第4団
堺第11団
堺第25団
狭山第1団
堺第16団
岸和田第4団
貝塚第2団
熊取第1団

大阪第106団
柏原第1団
八尾第4団
東大阪第3団
東大阪第6団
東大阪第12団
藤井寺第4団
羽曳野第4団育成会
堺第6団
堺第14団
和泉第2団
狭山第2団
河内長野第1団
岸和田第5団
泉佐野第1団
阪南第1団

大阪第160団
柏原第3団
八尾第7団
東大阪第4団
東大阪第7団
富田林第1団
松原第1団
堺第1団
堺第9団
堺第24団
高石第3団
堺第15団
河内長野第3団
貝塚第1団
泉佐野第4団
泉南第2団

以上140人

3. 職員に関する事項

職 員	氏 名	新任年月日	備考	職 員	氏 名	新任年月日	備考
事務局長	馳 澤 信 一	S53. 1. 5			伊 東 徹 二	H26. 4. 1	◎

◎ ボーイスカウト大阪連盟へ出向職員

4. 会議に関する事項

・理 事 会

第1回理事会（令和6年5月21日 江崎グリコ大阪梅田オフィス）

議 案

1. 令和5年度事業報告の件
2. 令和5年度収支決算および剰余金処分の件
3. 任期満了に伴う監事・理事候補者の定時評議員会への推薦について
4. 令和7年度「団活性化・スカウト加入促進事業助成金」募集について
5. 大阪連盟結成70周年・大阪ボーイスカウト振興協会設立50周年記念事業の終了と記念事業委員会の任務終了について
6. 公益目的支出計画実施報告について
7. 寄付金受け入れについて
8. 維持員加入について

第2回理事会（令和6年6月12日 書面決議）

議 案

1. 会長の互選
2. 常務理事の選任

第3回理事会（令和6年11月1日 江崎グリコ大阪梅田オフィス）

議 案

1. 業務執行状況の報告
2. 令和6年度第2回評議員会開催の件
3. 令和7年度「団活性化・スカウト加入促進事業助成金」審査
4. 維持員加入について

第4回理事会（令和7年3月14日 江崎グリコ大阪梅田オフィス）

議 案

1. 業務執行状況の報告
2. 令和7年度事業計画の件
3. 令和7年度予算の件
4. 令和7年度第1回評議員会開催の件
5. 「団活性化・スカウト加入促進事業助成金」報告の件

・評 議 員 会

第1回評議員会（令和6年6月12日 江崎グリコ大阪梅田オフィス）

議 案

1. 令和5年度事業報告の件

2. 令和5年度収支決算および剰余金処分の件
3. 公益目的支出計画実施報告について
4. 任期満了に伴う理事・監事の選任について
5. 大阪連盟結成70周年・大阪ボーイスカウト振興協会設立50周年記念事業の終了と記念事業委員会の任務終了報告について
6. 評議員の辞任と補充選任について

第2回評議員会（令和6年7月14日 江崎グリコ大阪梅田オフィス）

議案

1. 令和7年度事業計画の件
2. 令和7年度予算の件
3. 評議員の辞任とそれに伴う補充選任の件

・その他の会議

令和6年7月26日	幹事社会議（ホテル阪急レスパイア大阪）
10月24日	令和6年度団活性化・スカウト加入促進事業助成金審査委員会

5. 登記に関する事項

令和6年9月27日	任期満了に伴う理事・監事・会長、辞任に伴う評議員の追加選任の登記
-----------	----------------------------------

6. 主務官庁の指示に関する事項

令和6年6月20日	公益目的支出計画実施報告
	公益目的財産残額 96,388,286円

「団活性化・スカウト加入促進事業助成金」
令和元年度から令和6年度までの助成の状況

事業名と目的・目標

令和元年度

1	豊中第17団	内定額	62,000	使用額	62,000
	事業名	豊中17団のぼり作成			
	目的	ボーイスカウト豊中17団のPR			
	目標	登録人数を110名にする			
2	交野第2団	内定額	9,000	使用額	9,000
	事業名	「団活性化のための可視化戦略&PR作戦促進事業」			
	目的	団の活性化促進のための団委員、隊指導者の募集育成とスカウト加入促進の向上を図る。			
	目標	スカウト加入（前年度比20%増）促進と指導者導入訓練課程への参加（毎年2人）を目指す。			
3	大阪 第166団	内定額	81,000	使用額	81,000
	事業名	スカウト募集活動			
	目的	体験行事などへの参加を募り、その後、入団につなげる。			
	目標	2019年度内にスカウト6名の新入団			
4	枚方第9団	内定額	117,000	使用額	117,000
	事業名	SNS対応ホームページ・冊子作成によるスカウト活動見える化大作戦			
	目的	スマホなどに対応した団ホームページや活動紹介冊子によるスカウト加入促進を目的とする			
	目標	団HPの改変や活動紹介の冊子、紀行文作成により、団入隊者を年5～10名ほどに促進する。			
5	大阪第160団	内定額	50,000	使用額	50,000
	事業名	リーフレットの製作			
	目的	スカウトの加入促進			
	目標	新規スカウトの獲得			
6	高槻第5団	内定額	100,000	使用額	50,000
	事業名	団のスカウト加入促進を目的とした事業			
	目的	スカウト登録数の増			
	目標	ビーバースカウト登録者数5名以上			
7	東大阪第1団	内定額	220,000	使用額	220,000
	事業名	東大阪第1団スカウト加入促進・団再生5カ年計画事業			
	目的	団組織を整備し、指導者の資質向上を図り、団の教育力を強化する			
	目標	団組織を整備し加盟員70人を達成する。10年後100人越えの基礎を作る。			
8	豊中第2団	内定額	20,000	使用額	20,000
	事業名	隊員募集事業			
	目的	隊員募集活動を通じて新規隊員の加入促進を図る			
	目標	新規加入隊員5名を目標とする			
9	狭山第2団	内定額	50,000	使用額	50,000
	事業名	狭山第2団 全員一丸で ボーイスカウトの広告塔になろう 作戦			
	目的	ボーイスカウト活動の 地域への周知徹底、スカウト新規加入者増加を図る。			
	目標	地域のイベント参加 年間4回以上。 新規加入者 3名以上			
10	枚方第15団	内定額	60,000	使用額	8,000
	事業名	団一日体験入隊及び地域小学校内でのボーイスカウト体験			
	目的	地域の少年少女への体験提供事業及び指導者養成事業			
	目標	ボーイスカウト枚方第15団への入団者年間10名			
11	枚方第8団	内定額	20,000	使用額	20,000
	事業名	組織拡大・強化のための事業			
	目的	スカウト加入促進・中途退団の防止			
	目標	目的のとおり、新規スカウトの確保と中途退団の減少			
12	寝屋川第7団	内定額	15,000	使用額	15,000
	事業名	募集活動			
	目的	スカウト活動内容の周知、新規隊員の獲得			
	目標	新規隊員へ結びつける			

13	高槻第7団	内定額	50,000	使用額	50,000
	事業名	団活性化および意識高揚のためのノベルティグッズ作成			
	目的	団活性化と意識高揚に資するため、ノベルティグッズを作成し団関係者に配布する			
	目標	団に関わる一人ひとりが団への思いを高揚させることにより、未来に向けて団がますます発展するよう、団の活性化を促進する。			
14	枚方第18団	内定額	16,000	使用額	12,000
	事業名	スカウト加入促進			
	目的	一日体験入隊を行い新規入隊者を増やす、地域便利マップに団の案内を掲載し新規入隊者を促す			
	目標	ビーバー・カブスカウトを1人でも多く入団につなげる2年に1回全戸配布される地域マップに団案内を出し、いつでも連絡が取れるようにする			
15	なんとう地区東地域	内定額	100,000	使用額	43,000
	事業名	なんとう地区東地域再生事業			
	目的	なんとう地区東地域の各団の再生を図る			
	目標	各団の充実とスカウトの増員をはかる活動を行う			
16	羽曳野第4団	内定額	115,000	使用額	115,000
	事業名	羽曳野第4団再生計画 羽曳が丘ローラー大作戦			
	目的	羽曳が丘地域におけるボーイスカウト認知度アップと加入者増加			
	目標	毎年羽曳が丘地域から5名以上のスカウト加入がある状態を作る（継続実施）			
17	大阪第131団	内定額	70,000	使用額	0
	事業名	みんなでベッたん			
	目的	教育委員会の支援を受け、地域の子どもたち対象のお餅つきで、地域（の人々）とつながりをもつこと。			
	目標	1. ボーイスカウトの認知度を上げること 2. 団委員の活性化（育成）、スカウト増員を目指す			
18	なみはや地区	内定額	270,000	使用額	215,000
	事業名	ボーイスカウトクラフト教室			
	目的	全団で募集活動行事を大阪市教育委員会の支援を受けて展開し、地区内の各団を存続・発展させる。			
	目標	2019年度 スカウト登録増加数を各団目標2名以上とする 28個団×2名56人増加を目指す			
19	みしま地区	内定額	120,000	使用額	120,000
	事業名	ボーイスカウト認知度向上作戦			
	目的	ボーイスカウトの広報活動を主目的とし、視覚的などころのPRを狙う			
	目標	地域内のボーイスカウトの存在をPRし、一般の方々への認知度を高めていく。			
20	高槻第12団	内定額	100,000	使用額	61,256
	事業名	なりふりかまわずひとあつめプロジェクト			
	目的	指導者の若返りと、班活動ができるスカウト数にし、スカウトが自由に安心して使える場をみんなで作る			
	目標	中退団者を0にし、3年後にBVS隊8名、CS隊10名、BS隊9名にする。隊指導者の発掘。			
21	茨木第1団	内定額	46,000	使用額	46,000
	事業名	いばいち入隊促進・募集プロジェクト2019			
	目的	地域団としてスカウト活動の楽しさと意義を伝え、BVSとCSへの入隊促進を図る			
	目標	現在のBVS12名・CS17名を、来年9月にBVS15名・CS25名を目標とする			
22	箕面第1団	内定額	400,000	使用額	196,000
	事業名	スカウト加入促進・団活性・中退団防止の包括的支援事業			
	目的	全国の団へ向けモデルとなるマーケティングを実践検証、自団の持つ力を共有し役立てる			
	目標	全国のスカウト数増加			
23	東大阪第4団	内定額	30,000	使用額	30,000
	事業名	2019東大阪第4団「ボーイスカウトフェスタ」			
	目的	スカウト活動PRによるスカウトの加入促進と団の活性化			
	目標	参加の子どもたちがスカウト活動に興味を持って入隊を希望する。人数的には2, 3名できればと思う。			
24	かわち地区	内定額	70,000	使用額	45,520
	事業名	総務委員会広報機器充実化事業			
	目的	スカウト加入促進事業			
	目標	登録人数5%アップ			
25	大阪第120団	内定額	30,000	使用額	30,000
	事業名	「スカウトユニフォームのレンタル整備」による、加入促進・中途退団抑止事業_2019			
	目的	入団時、上進時の負担軽減により加入促進、中途退団抑制を目的とする。			
	目標	カブ隊への入隊・上進4名以上、ボーイ隊への上進100%、新指導者2名以上			

26	茨木第9団	内定額	170,000	使用額	170,000
事業名	スカウト広場の進化が止まらない！～新入団員勧誘イベントパワーアップ大作戦～				
目的	団在籍スカウト数の維持・増加を目的とする				
目標	中途退団数前年度比マイナス、各隊上進数前年度比プラス、通年新入団員数前年度比プラス				
27	豊中第5団	内定額	64,000	使用額	64,000
事業名	団のPR並び隊員募集活動				
目的	地域の公園、小学校での奉仕活動を通して団のPRと新規隊員の加入促進を図ること				
目標	ボーイスカウトを認知してもらい、新規、中途も含めて10名を目標とする				

令和2年度

1	大阪第166団	内定額	76,000	使用額	76,000
事業名	スカウト募集事業				
目的	体験行事などへの参加を募り、その後、入団につなげる。				
目標	2020年度内にスカウト6名の新入団				
2	高槻第5団	内定額	100,000	使用額	100,000
事業名	ふやそうスカウト・リーダー				
目的	スカウト獲得及び指導者育成				
目標	新規スカウト5名・新規リーダー3名				
3	茨木第2団	内定額	90,000	使用額	40,000
事業名	茨木第2団 プロジェクト2022				
目的	スカウトに「思いやりの心を持った人になってもらう」				
目標	①茨木第2団の存続・発展のため、ビーバー8名、カブ8名のスカウト加入促進を行う。 ②スカウト活動を通じて「思いやりの心を持つ」スカウトを育てる。				
4	大阪第68団	内定額	178,000	使用額	178,000
事業名	68団組織倍増プロジェクト				
目的	新規入隊スカウト・指導者の獲得				
目標	令和4年3月までに登録人数を現在の2倍にする（目標人数 70名）				
5	堺第24団	内定額	60,000	使用額	60,000
事業名	みんな集まれ団ポリ（入隊募集活動パワーアップ作戦）並びに わくわく自然体験活動				
目的	わくわく自然体験活動、並びに団ポリ、新緑の集いを通して、入隊募集につなげる				
目標	体験活動を開催し、引き続き体験活動に来ていただき、毎回数名の入隊に結び付けたい				
6	大阪第47団	内定額	50,000	使用額	50,000
事業名	ボーイスカウト大阪第47団体験活動令和2年度継続事業				
目的	ボーイスカウト体験活動				
目標	ボーイスカウト体験活動を通じてスカウトの入団につなげる				
7	吹田第19団	内定額	70,000	使用額	70,000
事業名	ISKプロジェクト（生き生き・行きたくなる・入れたくなる）スカウト活動19団				
目的	スカウト加入促進活動スカウト100名を目指す				
目標	スカウトの減少を防止して、ボーイスカウト活動のPRと地域の子供達に体験イベントの開催等を通じて活動の楽しさを理解してもらい、新しい仲間を増やし、スカウト数100名に戻す。				
8	高槻第4団	内定額	100,000	使用額	100,000
事業名	70周年に向けて、たかよんPR大作戦				
目的	継続可能な組織づくり及び加盟員の増加				
目標	隊・団指導者の増員及び充実				
9	吹田第15団	内定額	20,000	使用額	20,000
事業名	団活性化・スカウト加入促進事業				
目的	班活動・GB訓練ができるようスカウト数を増やす・指導者・団委員を増加・若返りを図る				
目標	3年後に北千里地区の小学スカウトを数を2倍の34人に増やす。				
10	富田林第2団	内定額	100,000	使用額	90,000
事業名	アグリカナンチャレンジ！ 2020 団創設50周年に向けて				
目的	団創設50周年を迎えるにあたって、団関係者が創意工夫をしてスカウト数の増加を目指す。				
目標	ビーバー・ビッグBV・うさぎ・しか・くま 各学年6名以上のスカウト数を目指す				

11	羽曳野第4団	内定額	110,000	使用額	93,940
	事業名	羽曳野第4団活性化計画 羽曳が丘ローラー大作戦			
	目的	羽曳が丘地域におけるボーイスカウト認知度アップと加入者増加			
	目標	毎年羽曳が丘地域から5名以上のスカウト加入がある状態を作る			
12	豊中第22団	内定額	100,000	使用額	100,000
	事業名	22団のSDGs 『未来の22団を描こう!』			
	目的	スカウト活動を通してSDGs実践することで、未来のボーイスカウト22団を描く			
	目標	ボーイスカウトが地域社会に必要な一員と認知される事で、スカウト増加を図る			
13	みしま地区	内定額	280,000	使用額	20,201
	事業名	「これがスカウト広報作戦だ!!」			
	目的	スカウト活動を知ってもらいスカウト数を増やし、指導者数を維持する			
	目標	①スカウト数が735名（2019年度4月）から750名（+15名、2%増）に増加している ②団委員/指導者数を維持（531名）している			
14	なんとう地区東地域	内定額	81,000	使用額	27,720
	事業名	なんとう地区東地域再生事業			
	目的	なんとう地区東地域の各団の再生を図る			
	目標	各団の充実とスカウトの増員をはかる活動を行う			
15	大阪第120団	内定額	63,000	使用額	63,000
	事業名	地域イベント協力によるボーイスカウト運動の認知向上と広報活動による加入促進事業			
	目的	地域イベントへの資材などの提供および森の教室を通じた地域への認知向上と加入促進を目的とする。			
	目標	BVSへの入隊4名以上、カブ隊への入隊4名以上			
16	茨木第9団	内定額	104,000	使用額	104,000
	事業名	スカウト加入促進を目的とした団PR事業			
	目的	スカウト加入促進			
	目標	通年新入団員数前年度比プラス			

令和3年度

1	大阪第70団	内定額	185,000	使用額	185,000
	事業名	ななまるプロジェクトチームで団活性化 3ヶ年計画			
	目的	団内の活性化 / プログラムを通して新しい指導者の取り込み			
	目標	3年後に団委員数14人・隊リーダー15名となり、CS・BS隊を複数組・複数班に			
2	かわち地区	内定額	82,000	使用額	357,422
	事業名	遊んで学ぼう!アウトドア (3か年目)			
	目的	各団のスカウト加入促進と、各団・地区の活性化			
	目標	事業の継続 (3か年計画)、毎年スカウト新規加盟登録数の5%アップ			

令和4年度

1	日本ボーイスカウト大阪連盟	内定額	1,000,000	使用額	1,000,000
	事業名	一万人のPR大作戦			
	目的	組織を挙げたPR活動を5カ年にわたって展開し、本運動を社会に普及啓発し組織拡大を図る。			
	目標	初年度の目標は、啓発物品の組織内への配付と事業の周知。			

令和6年度

1	富田林第2団	内定額	135,500	使用額	90,286
	事業名	【富田林第2団活性化3ヶ年プロジェクト】			
	目的	指導者育成・スカウト加入促進・中途退団防止等の期間内での目標達成			
	目標	2027年度、スタート時の体制：BVS・各年代4名、CS・2～3組体制、BS・2班体制の確立。			
2	和泉第2団	内定額	370,000	使用額	203,416
	事業名	スカウト加入促進プロジェクト（リーフレットおよびポスターの作成）			
	目的	地域にボーイスカウト活動を訴求し、スカウト数を増加させる			
	目標	2025年度中にスカウト数を2024年3月時点から10名以上増加させる			

令和6年度決算書

収 支 計 算 書

正味財産増減計算書

貸 借 対 照 表

令和6年度 決 算 書

I. 収支計算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

1. 収支計算の部

(単位：円)

支 出 の 部			収 入 の 部		
款	勘 定 科 目		款	勘 定 科 目	
	項	目		項	目
I 事業活動支出の部			I 事業活動収入の部		
	管理費	2,482,736		基本財産	566,660
	人件費	1,007,900		運用収入	566,660
	事務費	1,447,288		維持費	6,822,000
	運営費	27,548		収入	6,822,000
	事業費	27,888,459		寄付金	2,143,432
	普及奨励費	581,791		収入	2,143,432
	事業助成費	1,688,482		事業収入	21,346,676
	大阪連盟事業助成金	1,076,830		需品売上収入	20,146,676
	人件費	1,511,851		スカウト会館事務所使用料	1,200,000
	庶務費	5,000		雑収入	817,718
	会館整備費	550,000			
	会館運営費	4,190,879			
	管理費	2,219,682			
	光熱水費	971,997			
	固定資産税	999,200			
	需品事業費	19,972,108			
	仕入(含取扱経費)	17,516,615			
	人件費	2,519,751			
	事務所費	34,900			
	庶務費	0			
	公租公課	△ 99,158			
	小 計	30,371,195		小 計	31,696,486
II 投資活動支出の部			II 投資活動収入の部		
	積立金	2,500,000		積立金取崩益	1,055,500
				資産償却	700,000
	小 計	2,500,000		小 計	1,755,500
III 財務活動支出の部			II 財務活動収入の部		
	スカウト会館減価償却費	700,000			0
		0			0
	小 計	700,000		小 計	0
IV 予備費支出の部(剰余金処分)			IV 予備費収入の部(前期繰越・剰余金)		
				前期繰越	
	次期繰越	411,752		当期収支差額 (Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ差額合計)	△ 119,209
	合 計	411,752		前 期 繰 越	530,961
				合 計	411,752

2. 正味財産計算の部

令和6年度正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	566,660	557,914	8,746
特定資産運用益	0	0	0
受取会費	6,822,000	7,280,000	△ 458,000
事業収益	21,346,676	19,891,306	1,455,370
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	2,143,432	747,500	1,395,932
雑収入	817,718	121,121	696,597
経営収益計	31,696,486	28,597,841	3,098,645
(2) 経常費用			
事業費			
普及奨励費	581,791	731,042	△ 149,251
事業助成費	2,593,681	2,266,815	326,866
会館整備費	550,000	1,688,643	△ 1,138,643
会館運営費	4,190,879	3,987,376	203,503
需品事業費	19,972,108	18,245,668	1,726,440
減価償却費	700,000	700,000	0
管理費			
給与手当	1,007,900	1,038,930	△ 31,030
事務費	1,447,288	1	1,447,287
運営費	27,548	26,766	782
退職給付費用	0	0	0
経常費用計	31,071,195	30,026,724	1,044,471
基本財産評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	625,291	-1,428,883	2,054,174
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	42	-1,428,883	1,428,925
一般正味財産期首残高	200,406,593	201,835,476	△ 1,428,883
一般正味財産期末残高	200,406,635	200,406,593	42
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	200,406,635	200,406,593	42

一般財団法人大阪ボーイスカウト振興協会

令和6年度 貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

	当年度	前年度	差異
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	18,327,418	16,460,034	1,867,384
預け金	162,207	162,207	
未収金	16,907	137,584	△ 120,677
仮払金	0	505,500	△ 505,500
需品（商品）	6,576,230	7,841,598	△ 1,265,368
流動資産合計	25,082,762	25,106,923	△ 24,161
2 固定資産			
(1) 基本財産			
預金	8,000,000	8,000,000	0
投資有価証券	90,000,000	90,000,000	0
土地	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	148,000,000	148,000,000	0
(2) 特定資産			
建物	10,900,000	11,600,000	△ 700,000
投資有価証券	20,000,000	20,000,000	
特定資産合計	30,900,000	31,600,000	△ 700,000
(3) 預かり固定資産			
投資有価証券	40,000,000	40,000,000	0
預け金	0	0	0
預かり固定資産合計	40,000,000	40,000,000	0
固定資産合計	218,900,000	219,600,000	△ 700,000
資産合計	243,982,762	244,706,923	△ 724,161
II 負債の部			
1 流動負債			
未払い金	2,720,908	4,111,975	△ 1,391,067
預り金	229,970	188,355	41,615
仮受金	0	0	0
大阪連盟預り金	40,000,000	40,000,000	0
流動負債合計	42,950,878	44,300,330	△ 1,349,452
2 固定負債			
大阪連盟資金造成積立金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	42,950,878	44,300,330	△ 1,349,452
III 正味財産の部			
1 基本金			
基本財産	148,000,000	148,000,000	0
基本金合計	148,000,000	148,000,000	0
2 一般正味財産			
スカウト会館	10,900,000	11,600,000	△ 700,000
任意積立金	5,440,000	5,440,000	0
スカウト会館再建積立金	30,500,000	30,500,000	0
施設整備引当金	844,850	1,094,850	△ 250,000
団活活性化・スカウト加入促進事業助成積立	4,935,282	3,240,782	1,694,500
債券評価損準備金	0	0	0
次期繰越金	411,752	530,961	△ 119,209
一般正味財産合計	53,031,884	52,406,593	625,291
正味財産合計	201,031,884	200,406,593	625,291
負債及び正味財産合計	243,982,762	244,706,923	△ 724,161

一般財団法人大阪ボーイスカウト振興協会

監 査 報 告

令和7年5月13日

一般財団法人大阪ボーイスカウト振興協会

会 長 江 崎 勝 久 殿

監 事 耕 泰一郎



監 事 塚 本 一 男



私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（3）公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

